

ふるさと館だより

No. 27

2014.1.10

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 <http://furusatokan.web5.jp/>

あけましておめでとうございます。今年も地域の皆さまに親しまれるふるさと館の実現をめざしてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

・ふるさと館祭り、を開催します。

イベントの内容

(いずれも入場無料です。)

☆ふれあい子ども広場

～親子で昔の遊びに挑戦～

2月15日(土)

10:00～12:00

【第1・2会議室】3階

地域のベーゴマ名人、宮田 守氏にベーゴマの回し方を教わり、楽しめます。

☆企画展

～絵とことばと花のカルチャー展～

2月10日(月)～16日(日)

10:00～17:00

【展示室】1階

当館を利用している6団体のサークルの方々が日頃の活動の成果を発表します。

☆講演会

～大山街道の遺跡たち・地下三尺の語り部～

2月15日(土)

13:00～15:00

【イベントホール】2階

街道沿いの遺跡をとりあげ、当時の人々の生活の様子を村田文夫氏に講演していただきます。

街道学習講座の報告

～深秋の大山街道を訪ねて～

◇11月13日(水) 鷺沼駅から江田駅まで(約4.2キロ)

秋晴れの鷺沼駅を午後1時、中平龍二郎さんを講師として25名、元気に出発しました。八幡坂、うとう坂、血流れ坂という急坂に昔の人々の難儀を思いました。渡辺華山が通った道を歩き、華山が描いた有馬の風景を眺めながら、宿泊した荏田宿に到着しました。江戸から7里の地は、華山にはちょうどよかったのでしょうか。この宿は2度の大火で衰退したそうです。不動滝の水を呑み一里榎や庚申塔を確かめ江田駅前解散しました。

◇11月27日(水) 江田駅から青葉台駅まで(約4.7キロ)

またまた秋晴れの江田駅を30名で出発し、多摩丘陵の緩い上り下りを繰り返す道を歩きました。竹下地藏堂から大灘の辻までは街道の雰囲気が漂っていました。

竹之下宿には明治15年ごろに建てられた綿屋という旅籠が今もありました。大山街道は、尾根道や近代的な建物のそばの舗装道路や土地開発によって道筋の変わっている所もありましたが、今なお人々の生活に必要な道として役立っていることが分かりました。

心休まる紅葉の秋の一時でした。



子ども大山街道探検クラブの活動

11月は高津図書館で読み聞かせの活動をされている「めんどり」の方々に絵本の読み聞かせをしていただきました。読み聞かせグループの皆さんは大型絵本や紙芝居を準備し、子どもたちが楽しめるように工夫されていました。



子どもたちの表情から次の機会も楽しみにしている様子うかがえました。

12月は地域のベーゴマ名人、宮田 守さんを先生にお招きして「ベーゴマ」を使って昔の遊びに挑戦しました。ベーゴマは紐を巻くことと回すタイミングが難しく、子どもたちは苦勞していましたが、回った時の喜びは格別のような様子でした。館のスタッフも参加し、大いに盛り上がり、みんなで楽しみました。



郷土理解講座が終了 いざ、鎌倉！

郷土の武将を語る ～杵形城主 稲毛三郎重成の生涯～

第2回郷土理解講座は大勢の方々の参加を得、12月11日（水）に多摩区在住の演劇作家小川信夫氏を講師にお迎えして開催しました。

頼朝の有力な御家人として稲毛領（川崎市の北部）の領主になった重成でしたが頼朝の死後、北条執権政治を境に滅亡へと向かいます。

“杵形城主稲毛三郎重成”の波乱に富んだ生涯を臨場感のある語り口で、時にユーモアを交えながらの講話に参加者は、時の過ぎるのも忘れて聞き入っていました。



講演後のアンケートでは「興味深いお話でした。歴史の見方が変わりました。」「さすが、劇作家、語り部のストーリーの緊張感と意外性の展開に聞きほれてしまった。」「郷土の偉人を知ることは郷土を知るうえでとても大切なこと、今後も聞きたい。」などの声が寄せられました。

“お知らせ”

子ども大山街道探検クラブ研究発表会

子ども大山街道探検クラブのメンバーが、一年間の活動のまとめを発表します。これまで多くの講師の方々にご指導いただきながら、子どもたちなりに郷土への愛着と理解を深めてきました。子どもたちの発表を励ましにお出かけいただくと幸いです。

◇日 時：平成26年3月12日（水） 午後3時30分～4時30分

◆会 場：大山街道ふるさと館 イベントホール

◇ 講 師：中平龍二郎氏（地図研究家） 宮田進氏（NPO教育活動総合サポートセンター前理事長）

※この活動は、新年度も継続して行います。会員募集の際にはふるってご応募ください。